

## 成人看護方法論 I

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 特任准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	2 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

本科目は、慢性期・終末期にある対象に対する成人看護に必要な基礎的看護技術について学ぶ。慢性疾患を抱える対象者の病態、検査・治療の目的および心理を理解し、対象者が自己管理能力を高めるための看護を学ぶ。また、終末期にある対象者とその家族の特徴を理解し、看護援助の方法を学ぶ。

### ・教育成果（アウトカム）

成人期の様々な健康レベルにある患者と家族について理解し、援助に必要な知識と技術を習得する。

1. 成人期にある疾患をもつ患者の身体に生じている異常について組織学的に理解し、関連する機能障害、検査、治療、生活への影響について理解できる。
2. 成人期・終末期にある患者・家族に必要な看護に関して、アセスメントに必要な情報を収集し看護問題の抽出、具体的なケアプランの立案とその評価方法を理解する。
3. 成人期にあり、慢性的な身体障害のある患者・終末期にある患者・家族について身体・心理・社会・人生の行路の視点から考え支援に必要な理論を活用した援助の具体的な方法を理解する。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4,5

### ・到達目標（SBO）

1. 慢性疾患をもつ人および終末期にある人とその家族の特徴について説明できる。
2. 慢性期・終末期の各期に応じて変化する治療や日常生活への影響に対する看護を理解できる。
3. 慢性期・終末期にある患者とその家族に起こりやすい健康問題と看護の特徴を理解できる。
4. 慢性期・終末期の状態に応じた看護過程の展開について事例を通して理解できる。
5. 慢性期・終末期看護の看護支援を考察することができる。

・授業日程

(矢) 東 2-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/17	火	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	慢性期看護の考え方 ・慢性期の基本概念を説明できる
4/17	火	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	慢性期にある人の特徴 ・慢性疾患をもつ人の特徴を理解し特徴を説明できる
4/24	火	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	成人看護における倫理と看護者の役割 ・慢性経過をたどる健康障害をもつ人の看護における倫理課題を説明できる
4/24	火	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	慢性期にある人への看護援助 ・成人看護に使用される理論・モデルを理解し説明できる
5/8	火	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	慢性期にある人と家族の特徴と看護援助 ・成人期の患者とその家族への健康教育の特徴を理解できる
5/8	火	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	慢性期の栄養摂取・消化機能障害をもつ患者の看護 ・疾患の特徴と看護上の問題点を挙げるができる
5/15	火	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	慢性の代謝機能障害をもつ患者の看護 ・疾患の特徴と看護上の問題点を挙げるができる
5/15	火	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 特任准教授	慢性の代謝機能障害をもつ患者の看護 ・疾患の特徴と看護上の問題点を挙げるができる

5/22	火	3	共通基盤看護学講座	横田 真理子 特任講師	自己免疫系の疾患を持つ人のケア ・ 疾患の特徴と看護上の問題点を挙げるができる
5/22	火	4	共通基盤看護学講座	横田 真理子 特任講師	脳神経系の慢性疾患をもつ人のケア ・ 疾患の特徴と看護上の問題点を挙げるができる
5/29	火	3	共通基盤看護学講座	横田 真理子 特任講師	呼吸器の慢性疾患をもつ人のケア ・ 疾患の特徴と看護上の問題点を挙げるができる
5/29	火	4	共通基盤看護学講座	横田 真理子 特任講師	循環器の慢性疾患をもつ人のケア ・ 疾患の特徴と看護上の問題点を挙げるができる
6/5	火	3	共通基盤看護学講座	横田 真理子 特任講師	造血器腫瘍をもつ人へのケア ・ 疾患の特徴と看護上の問題点を挙げるができる
6/5	火	4	共通基盤看護学講座	横田 真理子 特任講師	慢性疾患の緩和ケア・家族ケア ・ 慢性経過を経て終末期に至る病状経過の特徴を理解し、患者とその家族に対する看護援助の方法を理解できる
6/12	火	2	共通基盤看護学講座	横田 真理子 特任講師	心理社会的側面のケア・スピリチュアルケア・意思決定支援とコミュニケーション ・ 成人期における終末期看護の特徴を挙げるができる

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキスト NICE 成人看護学 慢性期看護 改訂第2版	鈴木久美 他編	南江堂	2015
参	慢性期看護論 第3版	鈴木志津枝、他編	ヌーヴェル ヒロカワ	2014

・ 成績評価方法

筆記試験 80%と看護過程の展開の課題レポート 20%により、総合的に評価する。

・ 特記事項・その他

**【事前学修内容及び事前学修時間】**

成人期の対象を看護するためには、対象者を取り巻く家族環境や社会・医療情勢などの背景要因の分析ができる能力が必要です。日ごろから新聞に目を通すことや家族や自身の生活行動に関心を寄せることで講義内容の理解が深まります。

講義・演習の前には必ず関連する既習科目を復習しておくこと。シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・レジメ等を用いて最低 30 分以上の事前学修（予習・復習）を行うこと。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

提出されたレポートは採点后、コメントを付して返却する。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 成人看護学

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影